

ボランティアセンターの昨日 今日

新相談員と新旧担当者はこの人

新型コロナウイルス感染症対策に留意しながら、ボランティアセンターの相談員活動は順調に運営されています。新年度に入り、相談員増員と担当職員の交代がありました。

新相談員 宮崎静美

以前は市の居宅介護支援事業所や包括支援センターでケアマネジャーをしていました。自由人になった今、現役時代の友人から「感謝の心」というはがきをもらいました。縁があって、ボランティア相談員になった今の私にぴったり合うこの言葉。この言葉を大事にして相談員として頑張ろうと思いました。



趣味は畑仕事で、晴天下でくわを打ち下ろし芋を植え、夜は灯りの下で縫い物をする・・・自分なりの幸せを味わっています。

新担当職員 杉谷嘉紀

学生時代からあこがれていた寝屋川市社協に就職し、今年で7年目になります。寝屋川の地域福祉活動に携わる皆さんが培われてきた「経験・知識・価値観」を教わりながら、全力で考え、ともに悩み、喜びを分かちあい、私自身も成長させていただければと思っています。

ちなみに、生まれも育ちも、大好きなまち「ねやがわ」です♪



新担当職員 藤沢康子

今年度よりボランティアセンターを担当させていただきます藤沢康子と申します。

人との出会い、つながりを大切にしながら精一杯頑張っていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。



旧担当職員 深澤里英

縁あって2年間ボランティアセンターを担当させていただきましたがこの度、別事業を担当することになりました。ボランティアの事、まだまだもっと知りたく残念な気持ちです。

今までありがとうございました。地域福祉課の事務所にはおりますので、いつでもお声かけください。

ボランティアセンター 相談員

野涯周子・新宅智子
衣川小夜子・山崎祥子
堀田典子・大富まゆみ
尾崎和子・上田賀世
中村順市・宮崎静美

担当職員

藤沢康子・杉谷嘉紀
重山華澄



編集発行：寝屋川市社会福祉協議会ボランティアセンター
電話：072-838-0400
URL <http://www.neyagawa-shakyo.or.jp>



上記のQRコードを携帯電話やスマホ等から読み取ると、本会の各SNSページにつながります。

制約の中でも 元気な取り組み

コロナ禍の影響で福祉活動にも制限が課せられて1年余り。そんな中でも感染対策に工夫を凝らして、元気に活動中の校区福祉委員会を取材しました。

心も体もリフレッシュ ～地の利もあって～

点野校区（松下地区）
ふれあいサロン【淀川歩こう会】

去る11月18日快晴。コロナ感染防止対策をして52人の参加者が河川敷に集合しました。久しぶりの再会に皆笑顔です。のびのびと体操をした後は鳥飼大橋に向かって距離も速さも自分のペースで歩きます。秋の季節を感じながら皆でともにウォーキング。最後はお弁当・お茶を受け取り解散です。



会話も弾み身も心もリフレッシュ

参加した人からは「ご近所の人にあえてとともうれしかった」「皆さんと一緒に歩いて心も体もリフレッシュできた」「また、次回も実施してほしい」などうれしい声をたくさん聞くことができました。



桜のつぼみが目立つ公園を笑顔で散歩する115人

久々の再会に感涙も

楠根校区
合同ふれあいサロン【桜の通り抜け】

桜が咲き始めた3月20日、楠根校区福祉委員会では、桜の花を見ながらお散歩を楽しむ合同ふれあいサロンを開催しました。当日は115人の参加がありました。委員長の川口敦子さんは「参加者同士の交流のなかで、互いに助け合いながら参加して下さったことが印象に残りました。久しぶりの再会に泣いて喜ぶ人もいて感動しました。参加者はマスク越しの笑顔で私達も開催できた喜びを感じました」と話してくれました。

※本紙中「社協」は寝屋川市社会福祉協議会、「V」はボランティアのことです

これからのボランティア活動について考える



本会ボランティアセンター運営委員
摂南大学教育イノベーションセンター
講師 上野山 裕士

ボランティア活動のみならず、日常生活における人との関わりさえもためらってしまう日々が続いています。ボランティアセンター運営委員会でも、今後の活動のあり方について、それぞれの立場から活発な意見交換を行ってきました。そのなかで、人と人との関わりを考えるうえで、もっとも大切なことは「活動したい」

「関わりたい」という「想い」であるとあらためて感じました。もちろん、マスク、手指消毒といった対策が前提となりますが「想い」を形にするにはどうすればよいか、みんなで知恵を出し合いながら一歩ずつ進んでいく、これがいま私たちにできることなのだと思います。穏やかな気候を楽しみつつ、ぜひご自身の「想い」と向き合ってみてください。

自然の中の農業体験

コロナ禍の影響で延期されていたボランティア講座シニア編「農作業体験講座」～ジャガイモの植え付け～が3月16日、梅が丘の農園で実施されました。

往復バス移動は昔の遠足以来で、片道30分のミニバスツアーになりました。

参加者は15人、それぞれ農作業にふさわしい軍手長靴防寒具スタイルで、降水確率80パーセントの曇天の中、登



ボランティア講座シニア編



録ボランティアグループ「アスパラの会」の吉岡代表からジャガイモの植え付けについての説明を受けました。

6月の収穫を夢見ながらスコップ片手に時間のたつのも忘れて約1時間の農業体験。はやりのアウトドアで、土に触れる機会がほとんどない日常で、心地よい風と一面の畑と自然の中で気持ちいい体験農業でした。

獲れたてジャガイモの「ジャガバタ」はおいしいですよ。(中村)

← 「広々とした農園での植え付けは気持ちよかった。収穫も楽しみです」との声が聞かれました

優しい気持ち施設にお届け



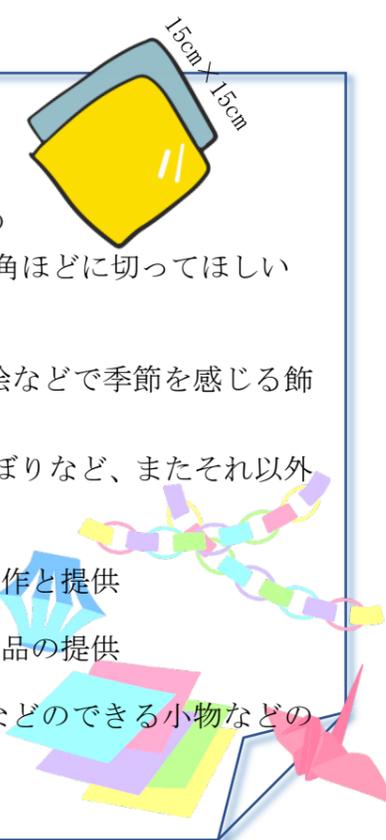
ボランティア活動を希望しながらも、コロナ禍の影響で、活動しづらいなどの声多い昨今。主に高齢者施設を対象に「今、ほしいボランティア」と「在宅でできるボランティア活動」などについて、調査、考察してみました。

施設側の希望と在宅でできるボランティア活動について、調査結果より下記の通りまとめてみました。ご興味、関心があって、ご協力いただける方は当ボランティアセンターまでご連絡ください。

☎072-838-0400

施設の希望

- ◆ぞうきん(ぼろ布)カットと提供
高齢者施設でこぼしたお茶などを拭き取る、床のしみをふくなど、使い捨てで使用するもの
☆古くなった服・シーツ・タオルなどを15cm角ほどに切ってほしい
- ◆装飾品の提供
施設の掲示板や入り口、カベなどに折り紙や絵などで季節を感じる飾り物
☆例：4月は「桜」をモチーフ、5月はこいのぼりなど、またそれ以外の飾り物
- ◆牛乳パックを組み合わせて作りたいすや台の製作と提供
- ◆リハビリ体操やストレッチなどで使用できる物品の提供
- ◆高齢者施設などで利用者が空き時間に軽作業などのできる小物などの提供
☆例：ぬり絵、計算表、かんたんなクイズなど



新型コロナワクチン接種詐欺にご注意！！

ワクチン接種は無料です！
接種費用は全額公費です

「コロナウイルスワクチンが接種できる。後日全額返金するので、お金を振り込むように

これらは詐欺です

電話・メールで個人情報を求めることはありません！

高齢者宅に「コロナワクチンが無料で受けられます」と個人情報聞き出す不審な電話